

財政

こう使われましした市のお金 平成16年度決算

平成16年度の決算がまとまりました。1人でも多くの人が、笑顔で暮らせるようなまちを目指して使われたお金。皆さんが納められた税金や、国や県からの補助金などが、どれくらい入ってきてどのように使われたのかお知らせします。

平成16年度一般会計の、歳入の決算額は268億1067万円、歳出の決算額は264億9838万円でした。歳入から歳出を差し引いた額は3億1229万円です。このうち、平成16年度内に完了しなかった事業の費用は平成17年度に繰り越されるため、その額を差し引いた額は、2億6581万円となっています。

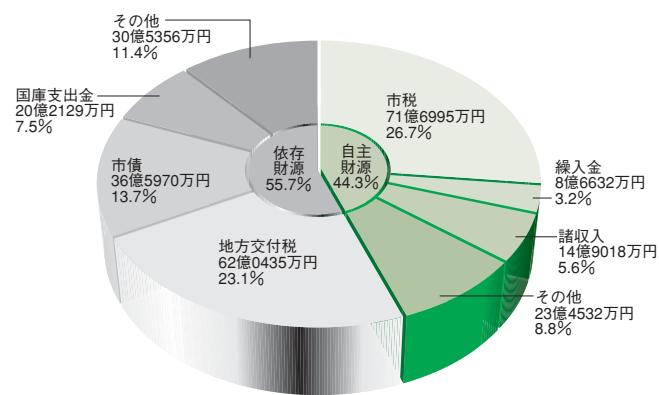
歳入では、平成15年度の旧3市村合算に比べて地方交付税が2億7086万円、市税が1億864万円、市債が2億990万円それぞれ減っています。歳入のうち、市税などの市独自で賄うことのできる財源は44.3%で、残りは国、県の補助金や市債などの財源に依存することになりました。

歳出では、3市村の合併に向けての準備経費として、住民情報や各種電算システムの統合経費が増加しました。その一方で、国体に向けての大型事業などが完了したことで、建設事業費が減少しています。地方財政は、三位一体の改革が進み、地方交付税や国・県からの補助金などの歳入が、ますます減る傾向

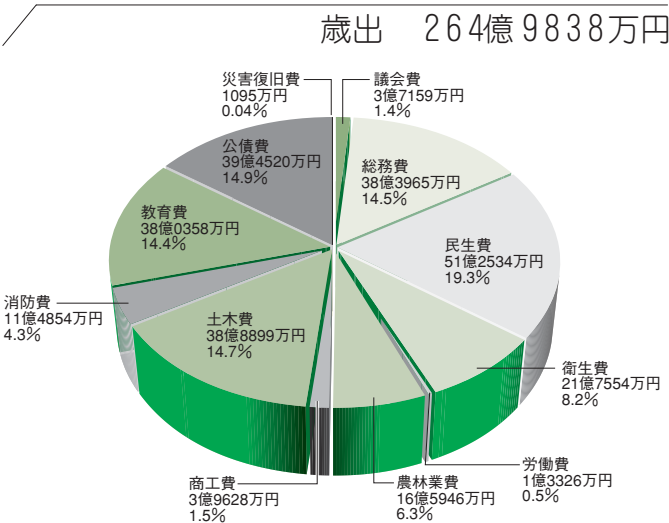
にあります。さらに今後は、過去に借り入れた市の借金である市債の償還が大幅に増加します。そのような中で市は、必要な事業の選択など、歳入の削減に積極的に取り組んで、限られた財源を有効に活用していきます。

問い合わせ 財政課理財係 ☎8228

●一般会計決算の状況



歳入 268億1067万円



歳出 264億9838万円

●会計別の決算額

Table with 4 columns: Accounting Name (会計名), Revenue (歳入), Expenditure (歳出), and Balance (差引額). It lists various categories like general account, special account, housing loans, and public works.

※決算額は、旧総社市・旧山手村・旧清音村・旧総社市外二箇村中学校組合・新総社市の通年合計額です

環境

ごみ収集有料化の説明会を開催

年々増え続けるごみは、大きな社会問題となっています。この問題は、総社市も例外ではありません。来年4月1日からごみの収集が有料になります。説明会を12月19日(月)から開催しますので、どうぞご参加ください。

平成18年4月1日からごみの収集が有料になります。ごみ収集を有料化することによって、ごみの分別の徹底が進み、減量化が期待されます。ごみの排出量に応じた費用負担の公平性を図ることもできます。また、これを契機に市民の皆さんに、ごみ

について関心を深めていただきたいと思えます。そして、大量消費・大量廃棄の生活スタイルから、環境にやさしい循環型スタイルの生活に切り替えましょう。つきましては、説明会を開催します。開催日・会場・対象地区は左の

表のとおり。いずれも午後7時から8時30分まで。最寄りの会場にご参加ください。参加は、どなたでも結構です。有料化になるごみの種類

燃やせないごみと「不燃性粗大ごみ」が有料化の対象です。資源ごみは、今までどおり無料で収集します。一般家庭ごみの「燃やせるごみ・燃やせないごみ」が有料化の対象です。資源ごみは、今までどおり無料で収集します。

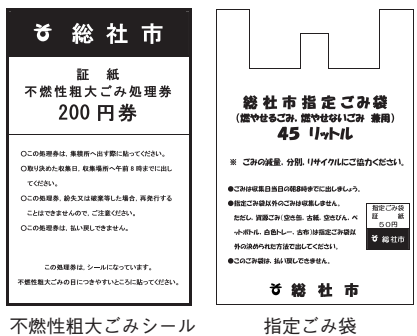
◎ごみ収集有料化説明会日程表

Table with 3 columns: Date (月日), Venue (会場), and Target Area (対象地区). It lists the schedule for waste collection fee explanation sessions from December 19 to January 21.

料金・搬出方法

燃やせるごみ・燃やせないごみ 有料の総社市指定ごみ袋に入れて集積所に出していただきます。(45ℓ袋・50ℓ袋、30ℓ袋・30ℓ袋/枚、20ℓ袋・20ℓ袋/枚)販売は、10枚単位です。なお、4月1日から6月30日までの3か月間は試行期間とし、この期間は、従来の透明・半透明の袋か有料指定袋のどちらでも使用で

有料ごみ袋・シール



有料のごみ袋やシールの販売時期や場所など詳しくは、来年2月ごろにお知らせする予定です。なお18年度は、総社市指定ごみ袋を世帯規模に応じて50枚・60枚無料配布します。問い合わせ 環境課ごみ対策係 ☎83338